

# 令和元年度事業報告

## <概況>

新天皇が即位し、「平成」から「令和」へと新たな時代が幕をあけたことから、実行章賞状、パンフレットなどを改定し、新たなスタートを切った。

事業は、重点活動である「伝えよう、日本の心プロジェクト」を中心に展開し、東京 2020 オリンピック・パラリンピックを盛り上げる機運を高めた。

一方、会員数は当該年度も会員の高齢化等により減少傾向となったが、団体会員 0B が新たに会員に加わるなど、新たな動きもみられた。会員数は 162,796 名（内訳：個人正会員 93 名、個人寄附会員 21 名、法人正会員 31 法人、法人寄附会員 18 法人、個人会員 1,069 名、地方賛助会員 6,717 名、団体会員 104,986 名、学校会員 49,861 名／令和 2 年 3 月 31 日現在）。運動の実践団体である地域組織は、33 道府県本部・137 市町村支部で、地域に根差した運動を推進した。

### 【令和元年度運動方針】

日本の美風の「蘇生」と「新生」

### 【令和元年度重点活動】

伝えよう、日本の心プロジェクト

## 公益目的事業 1

「小さな親切」運動を通じて国民の心身の健全な発達と豊かな人間性を涵養

### 1. 「小さな親切」実行章贈呈事業

○ 年間受章者数 45,187 名

受章者数累計数 5,951,397 名

／ 令和 2 年 3 月 25 日発表現在

○ 実行章受章者へのアンケート

実行章のもたらす効果を分析するとともに、運動の賛同者になってもらうことを目的に、大人（高校生以上）の個人と団体を対象に実施。

回答数：196 件

個人、団体とも受章について「うれしい」との回答が 9 割を超え、今後の活動の励みになる、推薦してもらったことに感謝したい、といった声も寄せられた。また、今後の推薦活動について確認した質問では、「ぜひ推薦したい」（個人 39.3%、団体 35.1%）、「推薦したい」（個人 47.2%、団体 53.2%）と、前向きな回答が多かった。

○ 「伝えよう、日本の心プロジェクト」事業として実施

海外との交流、外国人に親切にしたことが受章事由である個人、団体に特別バッジを贈呈。

特別バッジ贈呈数：1,117 個

○ 実行章バッジの販売

販売数：2,114 個（1 個 150 円／税込・送料別）

主な購入者：12 県本部・12 支部・学校、受章者本人など

- 実行章パンフ改訂 14,500 部

## 2. 第44回「小さな親切」作文コンクール

- 応募総数 42,379 編

内訳：小学生 675 校 10,420 編・中学生 694 校 31,959 編

傾向：昨年度より 3,944 編減。主な要因は中学生の応募数の減少による。

- 「伝えよう、日本の心プロジェクト」事業として展開

1) 特別テーマ「世界との出会い ～ありがとう、どういたしまして～」を設定。

特別テーマについて書いた作文の中から、奈良県明日香村立聖徳中学校 1 年の松川和さんに『フレンドシップ賞』を贈呈。

2) 「東京 2020 応援プログラム」認証を受け、東京 2020 応援マーク入りの、ポスターと応募要項を作製。

作製数：ポスター 4,700 部 ・ 応募要項 8,600 部

- 入賞・入選作品の発表

作品集には、上位 30 作品を収録。入選 100 名は氏名紹介のみとなることから、本部 WEB サイトにて全入賞・入選作品を令和 2 年 1 月 14 日～2 月 10 日にかけて順次公開（令和 2 年度の募集開始まで掲載）。

### 〔実施概要〕

後 援：内閣府 文部科学省 NHK 毎日新聞

テ ー マ：「小さな親切」

特別テーマ：世界との出会い ～ありがとう、どういたしまして～

応募資格：小学生・中学生（小・中学生と同じ年齢のものを含む）

応募方法：1) 400 字詰原稿用紙 3 枚以内（本文のみで 1,200 字）

2) 地域組織・学校でとりまとめる場合は、必ず選考を行う

副 賞：上位賞／メダル・電子辞書 or 腕時計（G-Shock）or 電波時計・  
文房具

入 選／メダル・電波時計・文房具

締め切り：9 月 20 日（金）必着

審 査：第 1 次審査：9 月 24 日（火）～10 月 1 日（火）

第 2 次審査：10 月 6 日（日）

最終審査会：10 月 21 日（月）

審査委員 5 名（内閣府大臣官房総務課管理室長ほか）

入賞・入選者数：130 名 内訳／大臣賞 2 名・運動本部賞 2 名・特別優秀賞 6 名

フレンドシップ賞 1 名・優秀賞 19 名・入選 100 名

要項・入賞発表：毎日新聞／ 5 月 17 日（金） 11 月 15 日（金）

教育新聞／ 7 月 8 日（月） 12 月 5 日（木）

情報誌『小さな親切』春号・令和2年新春号

本部WEBサイト

表彰式：令和元年11月23日(土) 全国表彰式席上

出席者232名(入賞・入選児童生徒71名・家族161名)

### 3. 青少年すこやか育成事業 <(公財)JKA補助事業>

- 声優による紙芝居上演を中止したほか紙芝居授業数を削減し、幼児期からの豊かな心づくりに力点を置いて活動した。

#### <幼児教育プログラム>

##### 1) 幼児の思いやりの心を育てる教育ツール完成

名 称：『おはなしメリーゴーランド』

日常を切り取った文字のないイラスト4枚を回転させ、子どもに、状況にあった行動や登場人物の心情を問いかけ、反応を見ながら自由に話を進める教材

- テ ー マ：1) あいさつ編(あいさつの大切さの学習と、習慣付けを目指す)  
2) 砂場編(友達への思いやりの心を育む)  
3) ケーキ編(喜びを分かち合うこと、また食事のマナーを学ぶ)

オリジナルキャラクター：ツール開発協力及び監修の有賀忍氏(板絵画家・江戸川大学客員教授)がオリジナルキャラクターを開発。

- 1) 「はなのほら ハナちゃん」  
通称ハナちゃんは、優しくて親切にするのが大好きだが、ちょっぴりうっかり者  
2) 「アカチン」  
恐竜の赤ちゃんで、ハナちゃんを助けるしっかり者

##### 2) 鹿児島県の保育園で実演

と き：令和元年7月1日(月)

と ころ：鹿児島市 私立鴨池保育園 / ケーキ編を使用

〃 市立真砂保育園 / 砂場編を使用

#### <紙芝居授業>

オリジナル紙芝居『つなみのひ』『まつりのひ』を用いた授業の実施

講 師：馬場喜久雄(全国小学校道德教育研究会顧問)

実 施 校：3校

7月12日(金) 山形県新庄市立沼田小学校 / 『まつりのひ』

参加：4年生28名 / 事後研修会を開催

10月25日(金) 東京都豊島区立池袋第一小学校 / 『まつりのひ』

参加：2年生49名、3年生32名

2月6日(木) 福井県永平寺町立御陵小学校 / 『つなみのひ』

参加：1年生19名 / 意見交換会を実施

#### 〈工作教室〉

牛乳パックでおもちゃ作り

講 師：有賀 忍（板絵画家・江戸川大学客員教授）

9月18日（水）長野市立山王小学校

／参加：3年42名・4年44名

#### 〈青少年教育専用WEBサイト「てらこあん」を通じた教育活動〉

工作教室で作成したおもちゃの作り方動画を配信するほか、幼児教育ツールのダウンロードページ、幼児向けプログラム監修者有賀忍氏の子育てコラムページを追加した。

### 4. みんなつながる、トモダチ作戦

- 「伝えよう、日本の心プロジェクト」事業として展開

「東京2020応援プログラム」認証を受け、東京2020応援マーク入りのぼり・たすきを配布。

作製数：のぼり旗 100枚 ・ たすき 1,000枚

（令和元年度配布分は、平成30年度作製。令和2年配布予定の追加分のみ令和元年度作製）

#### 〔実施概要〕

- 1) あいさつ推進グッズの無料提供（当該年度より送料700円）

提供団体：315団体

配布物：のぼり旗 1,130枚（ポール、スタンドなし）

たすき 3,771枚

ポスター 1,580枚

※1団体につき、のぼり旗3枚・たすき10枚・ポスター4枚をセットで提供。但し、活動規模により提供数を増加。

- 2) 活動事例の紹介

#### ①情報誌『小さな親切』

春号（№514）・山形県、三重県であいさつ運動を先行スタート

・栃木市立都賀中学校

夏号（№515）・福島県大玉村立大山小学校・同玉井小学校・同大玉中学校

・福島県山橋地区青少年健全育成推進協議会

秋号（№516）・岐阜県郡山市青少年育成白鳥地域会議

新春号（№517）・千葉県御宿町

・東京都日野市滝合自治会

#### ②本部WEBサイト

### 5. ことばの魔法プロジェクト

第35回「小さな親切」はがきキャンペーン

○ 応募総数 2,026 編

前年度比約 92%。減少要因は、組織および加入校応募が少なくなったため。

○ 「伝えよう、日本の心プロジェクト」事業として展開

1) 特別テーマ「世界との出会い ～ありがとう、どういたしまして～」を設定。

特別テーマについて書いた作品の中から、香川県の福永そらさんに『フレンドシップ賞』を贈呈。

2) 「東京 2020 応援プログラム」認証を受け、東京 2020 応援マーク入りの応募要項を作製。

作製数：8,000 部

[実施概要]

後 援：日本郵便株式会社 読売新聞社

テ ー マ：心から伝えたい ありがとう

特別テーマ：世界との出会い ～ありがとう、どういたしまして～

対 象：子どもから大人まで

応募方法：はがき及び専用フォームまたはメールで応募（いずれも 600 字以内）

締め切り：9 月 6 日（金）当日消印有効

審査会：10 月 2 日（水）

審査員 5 名（日本郵便切手・葉書室担当部長ほか）

入賞・入選者数：25 名

内訳：大賞 1 名・日本郵便賞 1 名・読売新聞社賞 1 名・

審査員特別賞 1 名・フレンドシップ賞 1 名・入選 20 名

副 賞：上位賞／切手シート・図書カード・書籍・高級文房具

入 選／図書カード・文房具

要項・入賞発表：読売新聞／4 月 17 日（水） 11 月 7 日（木）

レターパーク 5 月号 ・ 公募ガイド 6・9 月号

情報誌『小さな親切』春号・令和 2 年新春号

本部 WEB サイト

表彰式：令和元年 11 月 23 日（土）全国表彰式席上

出席者 21 名（入賞・入選者 9 名・家族 12 名）

## 6. 令和元年度「小さな親切」運動全国表彰式

- 十数年ぶりに、親切をした人（実行章受章者）と親切を受けた人の対面を行った。

[実施概要]

後 援：内閣府 文部科学省 NHK

と き：令和元年 11 月 23 日（土） 12：30～15：30

と ころ：東京・霞が関ビル 35 階 東海大学校友会館

参 加 者：約 350 名

プログラム： 石井麻由子（NHK 日本語センター・アナウンサー）

【表彰】 第 35 回「小さな親切」運動はがきキャンペーン

「小さな親切」運動推進功労者内閣官房長官賞 / 5 名

中村 真人（76）北九州市本部代表 ・ 池上 宏（82）香川県本部元副代表

福永 義和（78）徳島県本部副代表 ・ 田沼 利将（80）埼玉県本部監事

前川 楓二（87）広研印刷株式会社代表取締役会長

「小さな親切」運動大賞 / 1 団体

「小さな親切」運動岐阜県本部

「小さな親切」運動賞 / 2 団体・個人 3 名

室蘭支部（北海道） ・ 敦賀市立沓見小学校児童会（福井）

金高仁一郎（77・杵築市支部代表） ・ 葉本 光明（70・広島県地方賛助会員）

鈴木庄四郎（80・長井「小さな親切」の会事務局次長）

【対面 あのときはありがとう】

親切をした人：澁谷幸二 親切をうけた人：永家ご家族

【表彰】 第 44 回「小さな親切」運動作文コンクール

【作品朗読】 作文コンクール総理大臣賞・フレンドシップ賞

【アトラクション】『耳と心で感じるリーディングドラマ』

難波圭一さんとケッケコーポレーション所属の声優さん

## 7. 『小さな親切』誌の刊行 <（一財）日本宝くじ協会助成事業>

- 年間を通じて「伝えよう、日本の心プロジェクト」を推進する、各地の活動状況を紹介。
- メディアでも度々取りあげられている、いじめ問題解決のサポートを行う特定非営利活動法人ユース・ガーディアン阿部代表へのインタビュー、青森山田高等学校の山田校長の教育論の連載など、会員以外の一般読者にも関心を持たれる紙面作りを行った。

〔実施概要〕

季 刊 発 行：年 4 回（春号 5 月・夏号 8 月・秋号 11 月・新春号 1 月）

発 行 部 数：1 回あたり約 33,000 部 年間延べ 132,000 部

## 8. 地域の輪・和・環プロジェクト

- 車椅子の斡旋。車椅子発注先は、A2Z（東京都・ピジョンタヒラ代理店）。

〔実施概要〕

実 施 組 織：11 県本部 19 支部

斡 旋 数：71 台（うち リクライニング 2 台、子供用 1 台）

種 類：・USG-1（MIKI 社製） シートカラー：ブルー

自走式／介助ブレーキ（ドラム式）付／背折れタイプ

キャスター6×22 インチ／座幅 40cm／前座高 43.5cm／全長 98cm

全幅 65cm／全高 86.5cm／重量 12 kg

- ・プレート サイズ縦 4 cm×横 11 cm／白地に黒文字の亚克力製  
文字は 3 段以内で 1 段の文字数は 13 文字程度

価 格：①車椅子本体 17,175 円 (メーカー希望小売価格 65,000 円)

②プレート 2,000 円/希望組織のみ

展 開 方 法：・ 4 月 購入希望 (台数及びプレートの有無) のアンケート実施

・ 6 月 締切り、A2Z に発注

・ 10 月 1 日 (火) ～11 月 1 日 (金) の期間に、A2Z より発送

代金請求&入金：中央本部より 11 月に請求し、12 月 25 日 (水) までに入金

## 9. 日本列島クリーン大作戦(37 回目)

- 「伝えよう、日本の心プロジェクト」事業として展開

「東京 2020 応援プログラム」認証を受け、東京 2020 応援マーク入りのぼり旗・ポスターを配布 (平成 30 年度作製分から)。

提 供 団 体：69 団体

提 供 数：のぼり旗 735 枚 ・ ポスター 1,599 枚

- 日本たばこ産業(株)提供のごみ袋を、同社の展開している「ひろえば街が好きになる」に変更したのに伴い、可燃、不燃共通となった。

ごみ袋総数：156,200 枚

内訳/可燃・不燃用共通 30ℓ：86,000 枚 ・ 手提 12ℓ：70,200 枚

### [実施概要]

後 援：内閣府、文部科学省、総務省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、警察庁

協 賛：コカ・コーラ協会、(公社) 食品容器環境美化協会、スチール缶リサイクル協会、(公財) 日本環境協会、日本石鹼洗剤工業会

スローガン：美しい日本、美しい心

期 間：平成 31 年 4 月 1 日 (月) ～令和 2 年 2 月 29 日 (土)

## 10. 日本列島コスモス作戦 (31 回目) <協力：タキイ種苗(株)>

- コスモス種子 (dℓ・ℓ) 及び種子袋、ミニヒマワリ種子袋、ヒマワリ種子袋の斡旋。

### [実施概要]

発 注 数：① コスモス種子袋 32,975 袋

コスモス種子 (dℓ・ℓ) 101 dℓ ・ 33 ℓ

② ミニヒマワリ種子袋 63,295 袋

③ ヒマワリ種子袋 2,375 袋

価 格：① コスモス種子袋 1 袋 12 円

ミニヒマワリ種子袋 1 袋 12 円

ヒマワリ種子袋 1 袋 12 円

② コスモス種子 1 dℓ 540 円 ・ 1 ℓ 5,346 円

発 送：4月中旬

代金請求と入金：中央本部から4月に請求し、5月末日までに入金

## 11. 使用済み切手等寄贈

- 地域組織が取りまとめたものは、基本的に海外支援団体に直接送付してもらい、個人、企業、学校等からの寄贈分を中央本部で取りまとめ、寄贈先へ送付。

〈寄贈先〉

使用済み切手：(公財) ジョイセフ ・ (公社) 日本キリスト教海外医療協力会

使用済みプリペイドカード：特定非営利活動法人日本国際ボランティアセンター

- 収集量の概算

1) 使用済み切手 約 398.7 kg ・ プリペイドカード 約 3,606 枚

※地域組織から支援団体に直接送付されたものについては、収集量が不明のものもあるため、上記は一部。

2) 切手等は買い取られ、資金化される。当該年度は、およそ 719,000 円 (切手：1,800 円/kg、プリペイドカード：1.5 円/枚数) に相当。

- 協力者氏名を WEB サイトに掲載。

内訳/地域組織 9 件・企業 32 件・団体 10 件・学校 1 件・個人 19 件・匿名 10 件

※中央本部への協力者氏名のみ/のべ件数

地域組織 (県本部・支部)					
北海道	北見支部	青森県	十和田支部	山形県	高島「小さな親切」の会
山形県	酒田「小さな親切」の会	宮城県	宮城県本部	長野県	長野支部
熊本県	熊本県本部				
企業・団体					
北海道	北見信用金庫 本店営業部	北海道	北見信用金庫 卸町支店	北海道	北見信用金庫 三輪支店
北海道	北見石油販売株式会社	北海道	京セラ株式会社 北海道北見工場	北海道	白川整形外科内科
北海道	ネットトヨタ北見株式会社	北海道	北信興産株式会社	北海道	本覚寺
北海道	株式会社中神土木設計事務所	北海道	株式会社山腰測量設計事務所	秋田県	鹿角市立立山文庫継承 十和田図書館
東京都	株式会社大矢建工	東京都	三省堂印刷株式会社	千葉県	京葉ガス「小さな親切」の会
千葉県	新日本メンテナンス株式会社	岐阜県	株式会社松永製作所	静岡県	静岡県西部出納室
大阪府	医療法人拓海会 大阪北ホームケアクリニック	大阪府	社会医療法人仙養会 北摂総合病院	大阪府	マーカス経営会計事務所
島根県	有限会社夢工房	岡山県	タチバナ工業株式会社 中国支店	岡山県	水島商運株式会社
岡山県	有限会社岡建	山口県	株式会社日本セレモニー	熊本県	株式会社岩永組
熊本県	三和リース株式会社	宮崎県	株式会社宮崎銀行 佐土原支店	宮崎県	田野町さんさんクラブ連合会
学校					
岡山県	三咲町立棚原東小学校		児童会		
個人					
北海道 5 名・福島県 1 名・群馬県 2 名・埼玉県 1 名・千葉県 2 名・神奈川県 2 名・長野県 1 名・三重県 1 名・ 大阪府 1 名・宮崎県 1 名・鹿児島県 3 名・匿名 10 件					



## 12. 伝えよう、日本の心プロジェクト <東京 2020 応援プログラム認証事業>

- 同プロジェクトの柱となるクリーン大作戦については、北は北海道から南は沖縄にいたるまで全国規模の取り組みを目指すべく地域組織等との協議を重ねると共に、本部からも青森県本部、奈良県本部などの大規模クリーンに参加、取材して、実施状況を各地に知らせた。
- しかし新型コロナウイルス感染症の影響から、年度後半のクリーン大作戦は中止となるものもあった。

### [実施概要]

事業：東京 2020 応援プログラムの認証を得た、既存 5 事業で取り組む。

- 1) 日本列島クリーン大作戦
- 2) みんなつながろ、トモダチ作戦（あいさつ運動支援活動）
- 3) 「小さな親切」実行章
- 4) はがきキャンペーン
- 5) 「小さな親切」作文コンクール

期間限定作製物・実施内容：

- 1) 日本列島クリーン大作戦  
／のぼり旗、ポスター
- 2) みんなつながろ、トモダチ作戦  
／のぼり旗、たすき、ポスター
- 3) 「小さな親切」実行章  
／実行内容が海外の方との交流の時は、特製バッジを贈呈
- 4) はがきキャンペーン特別テーマの設定
- 5) 作文コンクール特別テーマの設定  
／世界との出会い～ありがとう、どういたしまして～

期間：平成 31 年 4 月 ～令和 2 年 9 月の期間限定

## 13. その他

### ○ 各地域の親切運動支援

- 1) 地方活動助成費の交付　／6月交付  
総額：8,381,000 円（平成 30 年度会費収入の 12%）
- 2) 全国地方本部事務局長会議  
とき：令和 2 年 2 月 14 日（金）　ところ：ベルサール九段 3 階会議室  
参加者：35 名
- 3) 地域組織の各種会合への講師派遣、会議出席等  
講師派遣：6 回　総会・会議等 18 回

### ○ 各種パンフレット、ポスター等の作製

- 1) 基本資料　基本パンフレット 13,000 部・三つ折りしおり 12,000 部  
八か条カード 30,000 部・実行章パンフレット 14,500 部

- 2) 会員証 (個人・団体・学校)、法人会員楯、会員バッジなど

## 収益事業

### 1. はがきキャンペーン作品の書籍化

当該年度は書籍化なし

### 2. 「小さな親切」運動グッズの販売

- 不織布バッグに不良品が見つかったことから、9月より販売を中止。

〔作製物〕

ボールペン：@100円 (地域組織販売価格@60円)

クリアファイル：@ 50円

不織布バッグ：@200円 (地域組織販売価格@180円)

※会員には割引を行い、会員特典を設定した。

※クリアファイルは、地域組織には県本部3箱、支部1箱の上限を設けて無料提供  
(送料1箱550円は組織負担)。上限を超えた場合は上記価格で販売。

〔販売数〕

ボールペン：4,792本 / 295,770円

クリアファイル：4,490枚 / 186,100円 (無料提供分除く)

不織布バッグ：127枚 / 22,860円

### 3. 作品集の販売

- 作品集『みんなをつなぐ！しんせつトレイン』(作文&はがき合併版) 4,000部  
発行日：令和2年2月14日(金)  
価格・販売数：@450円 (地域組織・会員割引：10冊以上で30%OFF)

## その他事業

### 1. 総会・理事会

#### 1) 第9回社員総会

とき：令和元年6月7日(金) ところ：ベルサール飯田橋駅前 2階会議室

#### 2) 理事会

3回開催：第39回(5/17)・第40回(9/6)・第41回(令和2年2/7)

東京オリンピック・パラリンピック準備委員会

3回開催：上記理事会実施日に併せて開催

## 2. 「小さな親切」運動本部特任推進委員の委嘱

当該年度は委嘱者なし

## 3. エコキャップ収集運動

地域組織の自主事業として展開

主な地域組織：福島県本部、長野県本部、京都府本部、山陰本部、香川県本部など

## 4. 心の国際交流

地域組織の自主事業として展開

主な地域組織：山口県本部、栃木県足利支部など

### 広報活動

#### 1. WEB サイトによる情報発信

公式 WEB サイト、Facebook、YouTube 等を通じて、地域組織活動等リアルタイムの情報を発信。

#### 2. メディアへの情報提供

- “「小さな親切」活動 2018” レポートを作成し、各地のメディアに送付。
- 「伝えよう、日本の心プロジェクト」としてあいさつ運動の取材提供を行う。

### 寄 附

寄附者 31 件（匿名含む） 金 額 456,136 円

### 見舞金

見舞金の呼びかけなし